



International Exchange Bulletin

とちぎ国際交流

第 23 号

1993年(平成5年)1月号
編集発行
栃木県国際交流協会
Tochigi International Association
〒320 宇都市昭和1-2-16
栃木県自治会館1階・3階
TEL (0286) 21-0777(代)
FAX (0286) 21-0951



矢板市・木幡神社例大祭(とちぎのまつり百選) 提供: 矢板市役所

木幡神社は、坂上田村麻呂にゆかりがある古い歴史を持っています。

1月14日の厄除け大祭には、家内安全、無病息災を願って、松飾りや古いお札を燃やすどんど焼きが行われ、太々神楽が奉納されます。この神楽は、神交会(太々神楽保存会)の人々により演じられます。

—THE KIBATA SHRINE GRAND FESTIVAL—

The Kibata Shrine has a close connection with Sakanoueno Tamuramaro and boasts a long history.

The Exorcism Grand Festival will be held on January 14th, 1993. On this day, Matukazari (the New Year's pine tree decorations), old

Ofuda (talisman) and other old New Year's decorations are brought to the ground of the shrine where a great bonfire (Dondoyaki) is held and dedicated to the health and safety of families. Daidai-Kagura (Shinto's liturgical drama) is performed by the members of "Shinkokai" (Kagura preserving group).

Place: Kibata Shrine, Yaita city.

Transportation: 7 min. drive from JR Yaita station (JR Tohoku Line)

今号の主な内容

- ★理事長 新年のごあいさつ……………P 2
- ★とちぎジュニアサミットリポート……………P 3
- ★とちぎインターナショナルフェスティバル'92
カメラルボ……………P 4
- ★「メキシコ栃木国際週間」への参加のご案内……………P 6

新年のごあいさつ



財団法人栃木県国際交流協会

理事長 田島 一郎

明けましておめでとうございます。

輝かしい平成5年(1993年)の新春を皆様お揃いで迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

近年の社会経済情勢は、国内、国外ともに変化の時代であります、その中で我が国の国際化の進展は特に著しいものがあります。

従来は、国や地方自治体を中心の相互交流が主体でありましたが、近年では外国人の在住や来訪の急激な増加に伴い、県民一人ひとりが国際化への意識を高め、世界の人々との交流を深めていくことが求められております。

本紙の第2号で当時のMIGAの寺沢長官(現参議院議員)が国際人の条件は「隣に外国人がいても平常心を失わない人」といわれておりますが、これからは、相互理解や心の交流のすることも必要だと思えます。

当協会は民間と行政が一体となって運営する第3セクターとして設立され、関係機関、団体や皆様方の御指導と御協力により各種の事業を進めておりますが、昨年は「外国人のための生活相談」を全国初めてのケースとして茨城県、群馬県と同時開催するなど充実に努めてまいりました。

今年は、当協会が発足以来5年目という節目の年を迎えることになりました。心を新たに国際理解や国際親善の推進に努力してまいりたいと思えます。

皆様方の一層のお力添えをお願い申し上げます。

HAPPY NEW YEAR !

In recent years we have entered an era in which both domestic and foreign socio-economic conditions have undergone considerable changes. In Japan, the domestic response to improve our internationalism has been remarkable.

In the past, both the national and local governments were the focus for the promotion of international exchanges. Now, with the rapid increase of foreign residents in recent years, it is the prefectural citizens who are actively seeking to increase both their international awareness, and promote further exchanges with the rest of the world.

In an article published in the second issue of this Bulletin, Mr. Terasawa, the then Director of MIGA (Multilateral Investment Guarantee Agency) and now member of the House of Councilors, said that an international person is one who "does not change his or her usual attitude or behaviour simply because foreigners are present". I think that in the future it will be even more important to continue improving both international understanding and exchanges.

Our Association was established in the third sector by the joint efforts of government and civil groups. We have been working to promote a variety of projects through the close cooperation with numerous other groups and associations. Last year, for the first time in Japan, a "General Counseling Day for Foreigners" was held simultaneously in Tochigi, Gunma and Ibaraki prefectures.

This year our association is celebrating its fifth anniversary of establishment. Naturally, we are eager to continue promoting international understanding and goodwill, and sincerely hope for the continued support of all our friends and associates.

I. Tajima

Ichiro Tajima
Chairman of Directors
Tochigi International Association

とちぎジュニアサミット

レポート

11月28日(土)、栃木会館会議室で、「とちぎジュニアサミット」が、(財)栃木県国際交流協会と国際協力事業団の主催で開催されました。この事業は、全国でも初めてで、内容は、次世代を担う中学生から国際交流・国際協力について事例を中心に意見を述べてもらい、大人が見逃している点を県民の国際交流に取り入れていこうというものです。

参加した中学生は、陽北中(宇都宮市)の久保井玲子さん、西方中(西方村)の早乙女猛さん、茂木中(茂木町)の小瀬真木子さん、美田中(小山市)の青木裕美さん、片岡中(矢板市)の小林俊雅さん、西那須野中(西那須野)の小山田友美さん、馬頭東中(馬頭町)の斎藤樹里さん、北中(佐野市)の荒井宏美さんの8名で、コーディネーターの山本愛一郎氏(国際協力事業団・総務部広報課課長代理)の進行で各自意見を発表しました。

意見内容をまとめると、「軽蔑や疑いの目では交流できない。交流には心と心の結びつきが必要である」「偏見というフィルターを通して外国人を見ることはやめ、人間一人ひとりを尊重して生きていきたい」「経済的には豊かな日本。貧しい人間は心も貧しいと考えがちだが、貧しくとも笑顔と親切が溢れている人たちはたくさんいる。日本人は今、心の持ち方について考え直さなければいけない」「外国人との交流には相手を理解しようとする



▲左から久保井さん、早乙女さん、小瀬さん、青木さん、コーディネーターの山本氏、小林さん、小山田さん、斎藤さん、荒井さん

努力が必要だ。また、それには英語力が不可欠だ」「外国人と交流するには、自分から積極的に行動することが大切である」「ホストファミリーとして外国人を受け入れ、文化や習慣の違いを知るとともに、そうした触れ合いから外国の人とより良い関係ができる」「積極的な外国人の先生との触れ合いから、お互いの違いを認め合い、溶け込む努力をすることで理解しあえることを学んだ」「アメリカ人との触れ合いを通して、国際人になることは、まず母国を知り、母国を愛することから始まる」などで、それぞれ身近に体験したことや感じたことを素直に話しました。

こうした考えが、次世代の国際理解への基本的なコンセプトとなるよう期待いたします。



セレモニーホール
センチュリー

へいあん

宇都宮市鶴田町(平成・鹿沼インター通り沿い)

TEL 0286-48-1122



0120-48-1165



カメラ・ルポ

あつまれ地球人!

TOCHIGI

とちぎ

今年で3回目を迎える「とちぎインターナショナルフェスティバル」が、11月8日(日)、快晴の下、宇都宮市あけぼの公園で、(財)栃木県国際交流協会と国際協力事業団の主催で開催されました。

県内外24の団体が、会場を彩った各テントで、活動報告を始め、料理コーナー、民芸品展示・販売やゲーム等、様々な企画を出展しました。また、メインステージではタイやインドネシアの民俗舞踊等、外国人によるパフォーマンスの他、お囃子や和楽踊り等、日本の文化も紹介されました。

秋の日差しのなか、会場には外国人2,100名を含む7,000名が訪れ、新たな出会いや触れ合いを楽しみました。



▲マレーシア人留学生による「イスラム教結婚式」のパフォーマンス



▲ミニステージで行われた、外国人と一緒にゲーム

▶英語指導助手・国際交流員(JET SETTERS)のダンス発表には会場を訪れた一般の方も参加



▶ブラジルからの留学生・研修員が「ランバダ」を披露



▶宇都宮大学留学生、サムソエディン・レニー・ラジャニさんのインドネシア舞踊

INTERNATIONAL FESTIVAL '92

インターナショナルフェスティバル'92



◀美しい衣装を身にまとい、華麗な踊りで会場を魅了した「タイ民俗舞踊」



▲宮の原小学校

Marching Band

▶築瀬小学校



▶外国人聴衆の興味を引いた、小松流新囃子宇都宮子供お囃子連による「お囃子」



◀さくらの会による「日光和楽踊り」を踊る会場の人たち



▲▼KDD (上)とIDC (下)の企画で、無料国際電話(3分間)がかけられ、外国人は大喜び



◀会場ではいろいろな場所で国際交流の輪が広がる



後援 栃木県 栃木県教育委員会 栃木県市長会 栃木県町村会 宇都宮市 宇都宮市教育委員会 下野新聞社 栃木新聞社 栃木放送 NHK宇都宮放送局
協賛 財団法人国際交流財団 栃木県牛乳普及協会 ㈱エーリスウエノ カルビス食品工業㈱ 国際電信電話㈱ (KDD) 国際デジタル通信㈱ (IDC)
協力 日本赤十字社栃木県支部

こちら国際交流最前線 日本ユーラシア協会(旧日ソ協会)栃木県支部

日ソ協会(日本ユーラシア協会に名称変更)は、1957年鳩山一郎氏を初代会長に創立以来、旧ソ連諸国民との友好と世界平和のために36年にわたって活動し、歴史的に類例の少ない大衆的な国際友好運動の実績があります。

62年宇宙飛行士のガガーリン氏を招いたり、小児マヒワクチンを旧ソ連から分けてもらい子供を守る運動に力を注いだり、日本最初の民間協定を締結し文化・学術・経済・ロシア語・ツーリズムの発展に大きな役割を果たしてきました。

旧ソ連地域への旅行、留学、ホームステイの斡旋の他、協会主催・後援の芸術公演、パーティ、講演会、映画会などの各種催しがあります。

栃木県支部では、前々支部長がユリスパレエ団団長で旧ソ連での公演実績があります。ロシア料

理講習、旧ソ連民族アンサンブル公演を主催しました。当協会は、多彩な活動をとおして、市民どうしの交流ネットワークを作っています。

旧ソ連地域との交流は手薄です。どうぞあなたもご入会ください。

▶問い合わせ 友枝 宗正 ☎0286-22-1010



◀ロシア極東地域との交流を通じたふるさと創生事業で来県したロシア人と県内視察

NEWS!

メキシコ栃木国際週間への参加のご案内

平成5年3月にメキシコ合衆国メキシコシティにおいて開催される「Destile de Primavera(デスティレ デ プリマペーラ/春の祭り)」に併せてメキシコシティ及びその周辺の都市で開催される「メキシコ栃木国際週間」で栃木県が世界に誇る伝統文化を紹介したいと、メキシコ栃木国際週間実行委員会から招待を受けましたので、流鏝馬、コーラス、龍王太鼓、日本舞踊を派遣することになりました。

日墨の友好親善にも貢献し意義ある招待渡航ですので、併せてメキシコ訪問団を派遣することになり、参加者を広く一般から募集することになりました。

なお、訪問団の皆様には、メキシコ栃木国際週間の行事の一部にも参加していただく予定です。

▶日 程

1993.3/15(月) 成田 17:45発

.....日付変更線

3/15(月) メキシコシティー17:30着

3/16(火)~18(木) メキシコシティー・
タスコ・アカプルコ市内観光

3/19(金) メキシコシティーにおいて在墨
栃木県人会との懇談

3/20(土)~21(日) メキシコ栃木国際週
間イベント参加

3/22(月) 自由行動

3/23(火) メキシコシティー 9:35発

3/24(水) 成田 17:35着

▶費 用 498,000円(往復航空運賃、滞在費等)
詳細は、TIA(☎0286-21-0777)まで。



宇都宮 ↔ 成田空港

直通高速バス マロニエ号

空港ターミナル出発ロビーへ2時間50分! 毎日4往復・4000円

▶JR宇都宮駅西口関東チサンホテル前 16番のりば

▶宇都宮発 5:20 8:30 12:00 14:00

▶往路:宇都宮→成田空港第2ターミナル(3F)→第1ターミナル(4F)

▶成田空港 第2ターミナル 1階 到着ロビー 9番のりば
第1ターミナル 1階 到着ロビー 6番のりば

▶成田空港発 8:05 15:30 17:00 19:40

▶復路:成田空港第2ターミナル(1F)→第1ターミナル(1F)→宇都宮

ご予約・お問合せ ☎0286-38-1730 または関東バス各営業所へ 関東バス

トピックス

「国際理解・国際協力のための全国中学生作文コンテスト」で 栃木県推薦の2名が特賞に入賞

「第32回国際理解・国際協力のための全国中学生作文コンテスト」(日本国際連合協会・日本ユネスコ協会主催)が去る10月24日開催され、栃木県大会から推薦した矢板市立片岡中学校2年・小林俊雅さんが勲日本国際連合協会会長賞(特賞)を、また西方村立西方中学校3年・早乙女猛さんが日本放送協会会長賞(特賞)を獲得しました。

小林さんは「今、自分を見つめ直すとき」という題で、フィリピンに住んで体験し感じたことから、日本の豊かな生活に対する見直しと開発途上

国への理解を訴えました。また、早乙女さんの「一つの事件から」という作文は、県内で起こった外国人労働者による女子大生殺害事件の影響で、鉄工所を経営する父親のところで働いているパキスタン人を見るみんなの目が変わってしまったことに対する憤りから、これからの国際交流には信頼関係が必要であることを主張しました。いずれも読む者ははっとさせるような内容で、最近の中学生の国際意識の高さが感じられます。

「第39回国際理解・国際協力のための高校生主張コンクール県大会」も10月16日に開催されました。入賞者は次のとおりです。▶最優秀賞=宮崎明美(鹿沼商工高校)▶優秀賞=大畑美優紀(真岡女子高校)、三富綾子(宇都宮短大附属高校)▶努力賞=斉藤裕子(宇都宮短大附属高校)、阿久津みわ(宇都宮短大附属高校)、黒田早恵(宇都宮女子高校)▶特別賞=原康子(聾学校)(敬称略)

▶小林俊雅さん



▶早乙女猛さん



国際交流Q&A

(外国人の労災保険適用について)

Q. 友人の不法就労外国人が仕事にけがをしました。労災保険適用になるのですか？

A. 労災保険法は、他の労働関係の法律同様、日本国内における労働に関するものであれば、外国人でも、また、不法就労者でも適用されます。さらに、雇用形態がアルバイトや日雇い等でも取扱に区別がありません。

ところで、よく、「労災保険に加入していない」という言い方をされます。しかし、労災保険は、雇われると自動的に加入するもので、雇用主が手続きをしなければ加入できないものではありません。従って、未手続き中や、保険料滞納中の労働災害でも、労災保険給付を受けることができます。

また、その様な場合、雇用主が滞納した保険料を支払い、保険給付にかかった費用の一部も負担しなければなりません。労働者の負担はありません。詳しくは、最寄りの労働基準監督署で相談してください。

協会日誌(1992.12.1~1993.1.31)

- 12/1~8 浙江省各界友好代表团来県
- 12/1 海外技術研修員・受入研修機関研修担当者合同打合せ会 (自治会館)
- 12/2 第2期日本語講座閉講(協会研修室)
- 12/9 第3期日本語講座開講(協会研修室)
- 12/13 国際連合公用語・英語検定第二次試験 (コンセーレ)
- 12/16 お正月国際交流の集い 打合せ会議 (自治会館)
- 12/17 海外技術研修員県内企業視察 (上三川町:日産自動車栃木工場)
- 12/19 宇都宮南ロータリークラブクリスマス・パーティー技術研修員参加 (ホテルニューイタヤ)
- 12/22 市町国際交流協会連絡会議(自治会館)
国際交流団体会議 (自治会館)
- 1/9 お正月国際交流の集い(ニューみくら)
- 1/20~22 技術研修員県外視察 (東京・千葉)

お正月国際交流の集い'93

- ▶日 時=平成5年1月9日(土) 午後1時～4時
 ▶場 所=ニューみくら (TIAの北側、徒歩1分)
 ▶参加費=無料
 ▶内 容=餅つき、着付け(記念写真をプレゼント)、書き初め、日本の伝統遊び、茶の湯、箏演奏、生け花、外国人によるパフォーマンスや文化紹介等。

T. I. A. EVENT INFORMATION

～“The '93 New Year Party”～

Date : Saturday, January 9th, 1993. 1:00 p.m. - 4:00p.m.

Place : New-Mikura (near the TIA office and the Kencho)

Entrance fee : FREE

Attractions : Rice cake pounding, Try on a Kimono (traditional Japanese costume), Calligraphy, Traditional Japanese games, Tea Ceremony, Koto (Japanese harp) concert, Flower arrangement, etc.



▶ 昨年のお正月国際交流の集い

新刊図書案内 (11月～12月購入)
 Newly-arrived BOOKS

▶ 国際交流関係機関便覧1992年版/財団法人国際経済交流財団発行 ▶ 国際協力・交流NGO団体名鑑/財団法人日本外交協会発行 ▶ 国際協力を読む/国際協力事業団発行 ▶ 栃木県芸術名鑑1992/栃木県文化協会発行 ▶ 東南アジア要覧1992年版/財団法人東南アジア調査会 ▶ 日本語表現文型中級II/筑波大学日本語教育研究会編集 ▶ 日本語かな入門(中国語版)/国際交流基金日本語国際センター編集 ▶ ひろこさんのたのしいにほんご/財団法人凡人社発行 ▶ 毎日留学年鑑(アメリカ留学編、イギリス留学編、カナダ留学編、オーストラリア・ニュージーランド留学編)/毎日コミュニケーションズ ▶ '91第一回アメリカジャパニウィーク/アメリカジャパニウィーク実行委員会発行 ▶ 外国人研修生 入国・在留諸申請用書式及び記載例集/財団法人国際研修協力機構編集 ▶ 海外の日本語教育の現状/国際交流基金国際センター発行 ▶ 世界の日本語教育/国際交流基金国際センター発行 ▶ EASY JAPANESE/NIPPON KYOIKU KIKI CENTER CO., LTD. ▶ JAPANESE LANGUAGE TEXT/CLAIR ▶ BULGARIA/TOURIST PUBLICITY CENTRE ▶ BASIC JAPANESE-ENGLISH DICTIONARY/BONJINSHA ▶ EAST ASIA/MODERN ASIA EDITIONS ▶ APPLYING TO COLLEGES AND UNIVERSITIES IN THE UNITED STATES/PETERSON'S GUIDES ▶ LE FRANCAIS ET LA VIE/HACHETTE ▶ VIAGEM AO JAPAO/T. A. QUEIROZ

編集後記

〇とちぎインターナショナルフェスティバル開催前になると、職員一同晴天祈願のためお百度参りをします…というのは冗談ですが、毎回天気にはハラハラさせられます。今年も予報では時期遅れの台風が接近中と、もうほとんど自然の嫌がらせ。〇しかし、自称“晴れ男”のフェスティバル担当者は「絶対晴れる!」と最後まで言い切っておりました。祈りが天に通じたのか、ただ心配しすぎていただけなのか、とにかく当日は堂々の秋晴れ。あけぼの公園にはたくさんの人が集まり、メインステージの各国舞踊や外国人との交流で、楽しい異文化体験をしました。

●ご案内図



※財団法人栃木県国際交流協会では、各企業・団体からのご出捐をお願いしております。当協会の事業にご賛同下さるみなさまのお力添えをよろしくお願い申し上げます。